

博多駅前道路陥没事故



陥没発生箇所



発生日時： 2016年（平成28年）11月8日

発生場所： 福岡県福岡市博多区
博多駅前2丁目交差点付近

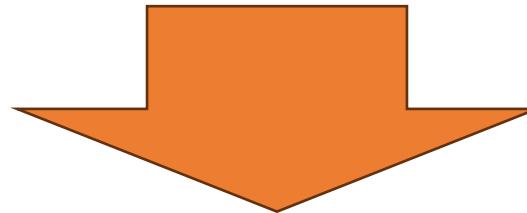
駅前の大通りで大規模な陥没が発生

周辺の多数の営業施設などがしばらくの間、
閉店を余儀なくされた

発生原因

「トンネル上部の岩盤層の厚さが、想定より薄くなっている箇所があった」

「岩盤層の内部に小さな断層や多くの亀裂があったことにより、地下水の水圧に岩盤が耐えられなかった」



老朽化

地盤のもろさ

調査不足

これからの土木に求められるものは？

新しいものつくるよりも**維持・管理**が大切

解決策

近年、高度経済成長に設備されたインフラ（橋梁、道路、トンネル）が老朽化が進んでいるため新しくつくるより長く使うことが重要視されている。



- ・老朽化インフラへの対応：道路インフラの診断・対応
(具体例：AIによるインフラ診断及びインフラの長寿命化対策)
- ・災害に強いインフラ：地震、豪雨、台風の増える中で被害を最小限に抑え、早期復旧出来る強靭なインフラを実現する。
(具体例：高潮、津波に備えた堤防の設置。流域治水を行いダムだけではなく市街地全体の洪水対策を行う。)

最近だと . . .

埼玉県八潮市でも発生

八潮市では最大で直径40m

博多駅前では最大で直径30m

